



とうきょう すくわくプログラム

2024年度活動報告書

杉並井萩雲母保育園



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

テーマ【自然との関わり(生き物...植物)】

設定した理由・背景

虫や花に興味をもち、戸外にて自然で遊ぶことが好きな事から、自然との関りをより深めるため。

用意した環境設定

- ・自然物を使って遊べる環境を作った。
- ・購入物品

(ジップロック、虫かご、図鑑、模造紙、水性ペン、ボンド、両面テープ、すり鉢、すりこ木、スケッチブック、筆セット、パレット、クレパス、ルーペ、顕微鏡セット、トレース台、鉛筆、消しゴム、毛糸、リボン、紙粘土、色画用紙、ラミネート、ホワイトボードシートマグネット、携帯(るくみー)、SDカード、ノートPC一式、プロジェクタースクリーン、プロジェクター)

活動のあゆみ

12月

- ・散歩や園庭で、自然物に触れる。
- ・保育活動の時間にきのご栽培をし、観察したり、絵を描いて看板作りをしたりする。
- ・保育活動の時間に自然物を使って表現活動をする。

1月

- ・保育活動の時間に散歩に行き、自然物を収集する。
- ・保育活動の時間に自然物について観察し、調べる。
- ・その自然物を使って、草相撲をして遊ぶ。

2月～

✿探究活動の実績✿

①お遊戯会で相撲を取り入れた事で、相撲に興味を持っていた為、「他にも色々な相撲があるけど知ってる？」と問うと、「知らない」と誰も知らなかった。そこでイラストを見せながら様々な種類の相撲があることを伝えると更に相撲に興味を示し真似をしていた。その中で、草相撲の事を伝えると、「どうやってやるの?」と子ども達が興味を示していた。

↓

②草を使った相撲があることを知り、「園庭に生えている草花でもできないかな」と子ども達から意見が出た。実際に園庭で草花を探す、「冬だからみんな枯れているね」と気づき、園庭に生えている草花では難しいと子ども達が悩んでいる様子であった。そこで「散歩に行つて探しに行くのはどう?」と保育者が尋ねると、「いいね」「何処の公園ならたくさん生えてるかな」と、何処の公園なら草相撲が出来そうな草があるか子ども達で相談して決める姿が見られた。

↓

③散歩へ行き、公園内の草花を探し見つけると、子ども達同士で「こっちにいっぱいあるよ」「これは長いよ」など教え合う姿が見られた。また、見つけた草の様子をその場で観察し、「この草は長いから相撲がしやすい」「太いから強そう」「引っ張ってみて切れないのが強いと思う」など、**草花の種類や太さ、大きさなどによって切れにくいなど自然物に様々な違いがあることを発見していた。**

・持ち帰った草花をグループに分かれて観察し、草花の名前や特徴などを発表しあい、実際草相撲をした。また、**自然物の形状や色、種類などの違いに気づいたことで自然物をデコレーションするなどして楽しめることも発見し、収集した自然物を使ってクリスマスのオーナメントを制作し、どこが気に入っているか、どこが苦労した所かなど発表をし、クリスマスツリーに飾った。**

↓

④園庭や散歩先で草花や枝を見つけた時に「強そうな草見つけたから草相撲しようよ」と、子ども達で誘い合いながら草相撲をして遊ぶ姿が見られた。また、負けて悔しかった子は枝を拾ってきて「これなら固いから絶対に勝てる」と様々な草花の特徴を考えながら楽しんでいた。散歩の道中、様々な草花を見つけては保育者や子ども達でどんな花なのか確認し合う様子が伺え、名前の分からないものに関しては、保育室内にある図鑑を使って自分たちで調べていた。また、その草花を見つけたと名前を言って友達や保育者に教える姿が見られ、探究活動を通して。



自然物を調べている様子



草相撲をしている様子



自然物を使って制作している様子



きのごを収穫している様子

まとめ

- ・図鑑ですぐに調べることが出来る環境を整えておいたことで、散歩や園庭から保育室内に戻ると直ぐに図鑑で調べる姿が見られるようになり、以前より植物に興味を持つようになったと感じた。
- ・戸外で草花を見つけた時に調べた名前を口にすると覚えられ、知らない草花を見つければ、どんな名前なのか、どんな花が咲くのかなど更に自然物に対して調べたり、考えたりする姿が見られるようになった。
- ・今後も自然物を使った遊びを積極的に取り入れ、もっと子ども達の不思議を探究していけるようにしていきたい。